

# 令和五年度 第三十九回 奥の細道象潟全国俳句大会

「象潟や雨に西施がねぶの花」「汐越や鶴はぎぬれて海涼し」の二句は、俳聖松尾芭蕉が訪れた最北の地「象潟」で詠んだ句です。この「象潟」に思いを巡らせてもらおうと昭和五十九年から全国俳句大会を開催しています。本年は、左記のとおり開催いたします。ご同好お誘い合わせの上、多数ご投句いただきますようご案内申し上げます。

## 一般の部

日時

令和五年八月五日(土) 午後一時～

会場

秋田県にかほ市 道の駅象潟「ねむの丘」

(JR羽越本線 象潟駅より車で五分、大会当日は、JR象潟駅・会場間の送迎バスを運行します)

## 大会日程

正午	午後一時	午後二時	午後三時
午後一時十分	午後二時十分	午後二時三十分	午後三時
午後二時三十分	午後三時	授賞式・閉会行事	

## 投句締切

令和五年六月二十三日(金) 当日消印有効(期日厳守)



西村 和子 にしむら かずこ

昭和二十三年、神奈川県横浜生まれ。昭和四十一年、大学入学と同時に「慶大俳句」に入会、清崎敏郎に師事。

平成八年、行方克巳と共に「知音」創刊、代表。毎日新聞俳壇選者。俳人協会副会長。

句集「夏帽子」(俳人協会新人賞)、「心音」(俳人協会賞)、「椅子ひとつ」(小野市詩歌文学賞・俳句四季大賞)、「わが桜」など。

著書「虚子の京都」(俳人協会評論賞)、「添削で俳句入門」(季語で読む源氏物語)「季語で読む枕草子」「季語で読む徒然草」

「気がつけば俳句」など。

講師 西村 和子 氏  
作品 一人二句まで(四季雑詠・未発表のもの)  
投句料 二句一組千円(現金書留または小為替同封のこと)  
投句先 奥の細道象潟全国俳句大会事務局(にかほ市生涯学習課内)  
〒018-0311  
秋田県にかほ市金浦字南金浦四十九-二  
電話 〇一八四-三八-二一七  
FAX 〇一八四-三八-四九二五

講師選 賞品。特選三句は蛸満寺境内の俳句掲示板に一年間掲示されます。(写真参照)  
主催 にかほ市・にかほ市教育委員会  
後援 秋田県俳句懇話会・日本伝統俳句協会秋田県部会・俳人協会秋田県支部・秋田県現代俳句協会・にかほ市芸術文化協会



蛸満寺境内 俳句掲示板

## 第三十九回奥の細道象潟全国俳句大会 (一般の部) 投句用紙

◆ 楷書で明瞭に記入してください

整理番号			
氏名	郵便番号	二	一
ふりがな	住所		
	ふりがな		
俳号			
ふりがな(※名字もつく方はフルネーム)			
電話番号 ※平日の昼時間に連絡が取れる電話番号			
8月5日(土) 大会の出欠:○をつけてください。			
出席・欠席			
締切 令和5年6月23日(金) [当日消印有効]			

〒018-0311  
秋田県にかほ市金浦字南金浦49-2  
奥の細道象潟全国俳句大会事務局  
(にかほ市生涯学習課内)